

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当年
32027	(1.2年)X-21-A-2-320273/(3.4年)X-21-B-2-320273	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
英文講読 1	臼井 陽一郎			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	3年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	3年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

※注意※

単位数は入学年度により異なる。1年次生は1単位。2,3,4年次生は2単位。

毎回300ワード程度の書評をひとつ読んでいく。取り上げる文献は政治や歴史、さまざまな文化まで、幅広く選んでいく。たとえば、Hitler's American Model
North Korean Human Rights
Fryderyk Chopin: A Life and Times
Russian Hybrid Warfare
The Spy and the Traitor
Rich Russians
Journey into Europe
などである。

また数行の英文を訳すというトレーニングを進める。たとえば、
Everyone you meet is fighting a battle you know nothing about. Be kind. Always.
といった小文である。

随時授業中に英語の勉強の仕方の事例を紹介していくようにしたい。

なお、この授業は、「高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし」、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつである。

の科目のひとつである。

各回毎の授業内容

第1回

【授】導入
【前・後】事前配付資料を読み込んでくること。4時間相当の事前事後学習。

第2回

【授】書評1、翻訳トレーニング1
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第3回

【授】書評2、翻訳トレーニング2
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第4回

【授】書評3、翻訳トレーニング3
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第5回

【授】書評4、翻訳トレーニング4
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第6回

【授】書評5、翻訳トレーニング5
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第7回

【授】書評6、翻訳トレーニング6
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第8回

【授】書評7、翻訳トレーニング7
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第9回

【授】書評8、翻訳トレーニング8
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第10回

【授】書評9、翻訳トレーニング9
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第11回

【授】書評10、翻訳トレーニング10
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第12回

【授】書評11、翻訳トレーニング11
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第13回

【授】書評12、翻訳トレーニング12
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第14回

【授】書評13、翻訳トレーニング13
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第15回

【授】まとめ。翻訳について。テキストを読むということについて。
【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第16回

【授】期末ワークシート提出
【前・後】授業中に指示した箇所を訳しておくこと

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

期末レポート50%+毎回の授業内課題訳文50%

教科書参考書

ポータルサイトにてダウンロード先を指定する。

受講に当たっての留意事項

教員が毎回訳していくので、英語が苦手でも心配しないように。

学習到達目標

1. 英文の意味内容を日本語で表現するにあたって、日本語としての自然さを損なわないという意識を鍛え上げること。
2. そのためにも、英文の構造に習熟して、一つの文から複数の主語述語関係を柔軟に多様に読み取れるようになること。
3. 日本語表現と英語表現の本質的な差異について、自分なりの認識を確立できるようになること（これが延いては自分自身の文体を自覚した自分なりの英文翻訳システムを作り上げることに繋がっていく）。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習